



門真市立文化創造図書館
KADOMADOのデザインプロセス

学びで地域を活性化させる図書館

門真市立文化創造図書館KADOMADOは
図書館を中心とした市民の文化・学習活動及び地域活性化を推進するための拠点施設

魅力的な学びの空間のデザインプロセスを紹介します

クラフトラボ什器	04
コントラクト家具	06
書架サイン	08
デザイナープロフィール	09

デザイン TAP TAIHEI ART PRODUCTS BUREAU

制作 一瀬製作所 + 栗原本工



クラフトラボ什器

デザイン TAP TAIHEI ART PRODUCTS BUREAU

制作 一瀬製作所 + 栗原木工



門真のものづくりを通した学びを提供するクラフトラボは、什器のデザイン・制作から運営コンテンツまでの全てを地元のプレーヤーが担当している。これまでの門真のまちづくりや産業振興のノウハウを活かして、KADOMADOの学びの考え方に共鳴し、運営コンテンツにまで関わる意欲のあるプレーヤーを探すところからこの取組みはスタートした。

門真でアートを制作をするTAPを中心に金属加工は一瀬製作所、木部加工は栗原木工の力を借りることで、建築のデザインを尊重しながらラボのコンセプトを表現した空間が完成した。それらの地元プレーヤーが、建築の設計者や施工者と連携しながら空間を作っていくプロセスは、公共施設のデザインの質を上げながら当事者として施設に愛着を持つ人々を増やすことにつながった。

デザイン 小久保竜季
制作 カンディハウス



コントラクト家具

デザイン 小久保竜季
制作 カンディハウス

建築の空間デザインを構成する要素で家具の存在は大きく、滞在型図書館でもあるKADOMADOにおいては高い機能性も求められる。既製品のみでまとめる事も考えられたが、数量の多さもあり共に空間デザインを考える家具デザイナーと家具メーカーのチームをプロポーザル方式で選定した。

家具プロポーザルの経験がある大阪中之島美術館の菅谷館長を中心に、基本設計者の遠藤克彦氏と、プロダクトデザイン専門の京都市立芸術大学長谷川准教授、家具デザイン専門の京都工芸繊維大学多田羅助教の力を借りて選定し、意欲ある若手デザイナーと経験ある家具メーカーのチームが選ばれた。

オリジナル家具の配置、色彩については、家具デザイナーの小久保竜季氏がフロア毎のカラースキームを作成し、設計者と共に床材の色彩を決めるなど、建築と家具が連携するプロセスを重視し進めていった。1階のベンチの形状に合わせて植栽ポッドの形状を変更するなど、建築が家具に寄せていくプロセスが空間の一体感とチームとしての関係者の一体感を生んでいった。



書架サイン

本体デザイン 門真市市民文化部生涯学習課
グラフィックデザイン hokkyok

書籍の分類を案内し仕切る機能を持つ書架サインは、サイズは小さいが館内に約5,000個が設置されるため空間における存在感は大きい。通常は建築とは別に備品として発注されるため、デザインのコントロールが難しくなる。

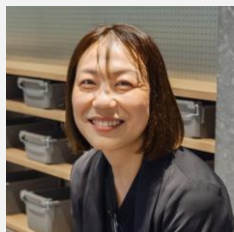
機能と強度を確保しながら、空間デザインに合わせていくため、できる限りシンプルな形状なものをオリジナルでデザインし、建築のサインと同じ素材、色、グラフィックを用いることで、視認しやすく目立たないサインを制作した。設計者やデザイナーと連携し小さい備品までデザインをコントロールすることで空間の質を高めている。





川島 慶樹

TAP TAIHEI ART PRODUCTS BUREAU 代表 彫刻家
1962年大阪市生まれ。1984年大阪芸術大学美術学科彫塑卒業。
1993年守口市西山荘遊歩道モニュメント「川面への想い」で1995年第1回おおさかパブリックアート賞受賞。2020年ANAインターコンチネンタル石垣リゾート エントランス「Twiggy project」等作品多数。大阪芸術大学短期大学部特任教授、太平産業株式会社（門真）代表取締役。



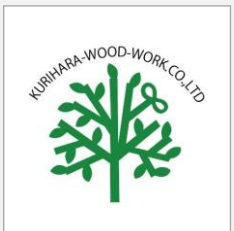
荒川 志織

TAP TAIHEI ART PRODUCTS BUREAU 空間デザイナー
兵庫県生まれ。大阪芸術大学美術学部デザイン学科卒。
Saturday Studio主宰。
2025年よりTAPに参画。
内装デザイン会社、アトリエ系デザイン事務所にて設計・ディレクションに携わる。



一瀬 勇樹

株式会社一瀬製作所 代表取締役
門真を拠点にステンレス製建具や装飾金物を主軸にデザイン性や機能性などのさまざまな仕様に対応した高品位・高品質の製品を製造する一瀬製作所。クラフトラボ什器では、高い精度の金属製建具やパンチングパネルを制作。館内の金属製アートの製作も担当している。FactorISM等さまざまな産業振興の活動を精力的に実施している。



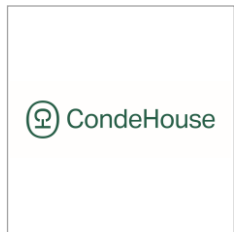
栗原木工

日本が培ってきた造作家具の技術で
これからの暮らしを支える木のプロフェッショナル
1974年の創業以来、栗原木工は長年培われた技術と、新しい発想をカタチにする挑戦心が共存するモノづくり集団。間伐材の活用や端材を減らす取り組みなども含めて、古くからの知恵を受け継ぎ、木との付き合い方を未来に向けてアップデートしている。



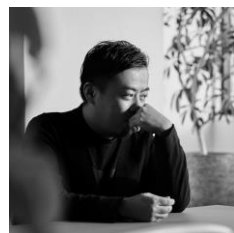
小久保 竜季

家具デザイナー
1993年 北海道伊達市出身
2017年 桑沢デザイン研究所 スペースデザイン専攻 卒業
2017年～ 藤森泰司アトリエにて大阪中之島美術館、
金沢美術工芸大学等の家具デザインを担当
2024年 個人事務所として独立



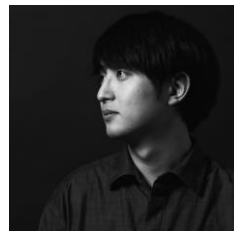
カンディハウス

1968年の創業以来、国内有数の家具産地、北海道・旭川でのものづくりにこだわってきました。国内外のデザイナーと共に妥協のない製品開発に取り組みながら、北海道の自然と日本の文化に育まれた美意識をデザインとものづくりに生かし、長く愛着を持って使える木製家具にて、ライフ&ワークスタイルを提案しています。
東京や大阪をはじめ全国7店舗、海外28カ国地域へ展開。



藤井 北斗

hokkyoku アートディレクター
1982年埼玉県生まれ。2005年京都工芸繊維大学卒業。廣村デザイン事務所などを経て、2015年hokkyokuを設立。ロゴマーク、ポスター、パッケージなどのグラフィックデザインのほか、サイン・展示計画、アートワークなど平面から空間へと展開するデザインを軸に活動。SDA Award（日本サインデザイン賞）金賞、日本空間デザイン賞金賞など。



小中 研太

hokkyoku デザイナー
1997年兵庫県生まれ。2023年京都工芸繊維大学大学院修了、同年hokkyoku入社。学校、銀行、病院など多様な施設のサインデザインに携わる。2025年日本サインデザイン賞（SDA Award）にて銀賞・銅賞を受賞。クライアントワークと並行して、文字の視覚表現を探索する。日本タイポグラフィ年鑑2025 実験・研究部門 ベストワーク受賞など。

門 真 市 立 文 化 創 造 図 書 館
KADOMADOのデザインプロセス

2026年 5 月発行

発行者 門真市市民文化部生涯学習課

〒571-8585大阪府門真市中町 1 番 1 号



KADOMADO

門真市立文化創造圖書館